教務事務センター

【現代心理学部】2021 年度入学者向け 履修要項（2021 年度配付）訂正・変更一覧

（2026 年 3 月 19 日時点　訂正・変更一覧）

＊全学共通科目の訂正･変更については、以下の「全学共通科目 訂正･変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと　※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと　※冊子 PDF には反映をしていません

＜2026 年度中の訂正・変更箇所＞

全体を通しての変更

SPIRIT→RIKKYO　PORTAL

教務部部掲示板→教務掲示板

教務部ページ・教務部サイト→教務事務センターページ

学生部→学生課

URL→2026 年度履修要項で最新の情報を確認すること

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4 教務窓口	文，経済，理，社会，法，経営，異文化コミュニケーションの各学部・研究科学生 ↓ 文，経済，理，社会，法，経営，異文化コミュニケーション，環境の各学部・研究科学生
3/19	14	変更	Ⅰ カリキュラムのしくみ（RIKKYO Learning Style）	1 カリキュラムのしくみ（RIKKYO Learning Style）	また，本学では e ポートフォリオ～ ↓ また，本学では e ポートフォリオ「立教時間」～
3/19	25	変更	Ⅲ-2 履修規定　履修についての注意事項	２．履修登録上限単位数	「履修登録上限の範囲」を削除し以下を追記。履修登録上限単位数に変更は無し。 「＊９月入学者は当該年度秋学期と翌年度春学期で通年（１年間）の登録上限 ＊４月入学者・NEXUS プログラム生（２学期目以降）は当該年度の春学期・秋学期で通年（１年間）の登録上限 ＊学校・社会教育講座科目（科目コードが G～で始まる科目）は，履修登録上限に含まれない。 ＊単位認定により修得した単位については，「入学後に他大学等で修得した単位」を除き，履修登録上限単位数には含

					まれない。」
	30			１２　卒業論文，卒業制作について ５．口頭試問	【変更前】 春学期に卒業論文，卒業制作を提出した者は７月下旬に口頭試問を行う。 ↓ 【変更後】 春学期に卒業論文，卒業制作を提出した者は７月に口頭試問を行う。
3/19	31 33	変更	Ⅲ-3 履修規定　単位認定	派遣留学制度による単位認定	(1)⑤シラバス等，授業内容がわかる書類 ※言語系科目については～ ↓ ※全学共通科目については～
				派遣留学制度による単位認定	郵送（書留相当）による派遣留学単位認定申請について ↓ 枠内削除
				4 入学前に修得した単位の認定	(2)　認定対象の範囲 ただし，言語必修科目については，一定の実力・学習歴がある場合には，別途履修免除制度による単位認定の可能性がある。 ↓ ただし，言語Ｂ必修科目については，一定の実力・学習歴がある場合には，別途履修免除制度による単位認定の可能性がある。
3/19	35	変更	Ⅳ 学修計画の立て方・アドバイザー	2　アカデミックアドバイザー・オフィスアワー	※全学共通科目言語系科目教育講師のオフィスアワーの一覧はR Guideにて各学期はじめに発表する ↓ ※全学共通科目言語系科目のオフィスアワーの一覧はR Guideにて各学期はじめに発表する。
3/19	43 55	変更	Ⅵ 試験・成績	項目全体	「筆記試験」「追試験」「不正行為」「成績」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2026年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
	111 122		博士課程前期課程 Ⅳ 試験・成績		
	147		博士課程後期課程 Ⅳ 試験・成績		
3/19	56	変更	Ⅶ 卒業に関する事項	1 卒業および学位に関する規定	文学科の後ろに、「各専修」「グローバル・リベラルアーツ・プログラム」を追記。 末尾に「環境学部環境学科／環境学」を追記。

				3 卒業合否の発表	（以下追加） １．卒業合否の発表. ２．学位授与式 詳細は大学ホームページから確認すること。 学位記等の配付方法については，卒業合否の発表日にあわせて成績参照システムにて発表する。
3/19	62	変更	Ⅸ グローバル教養副専攻	1　グローバル教養副専攻（G副専攻）とは	詳細は G 副専攻 Web サイト（http://s.rikkyo.ac.jp/rmp）を確認すること。 ↓ 詳細は G 副専攻 Web サイト（https://portal.rikkyo.ac.jp/rmp/about）を確認すること。
3/19	66	変更	Ｘ 5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus） ↓ Ｘ 4 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）		f-Campus とは学習院大学，学習院女子大学，日本女子大学，早稲田大学，本学の 5 大学間における単位互換制度である ↓ f-Campus とは学習院大学，日本女子大学，早稲田大学，本学の 4 大学間における単位互換制度である
				1 履修登録 2.登録可能単位	本学を除く他の 4 大学合計で年間 12 単位まで。 ↓ 本学を除く他の 3 大学合計で年間 12 単位まで。
3/19	77	変更	公認心理師	１．資格の趣旨	【変更前】 資格についての詳細な情報は，厚生労働省および日本心理研修センターのホームページを参照すること。 ↓ 【変更後】 資格についての詳細な情報は，厚生労働省および一般財団法人 公認心理師試験研修センターのホームページを参照すること。
3/19	81	変更	現代心理学部　心理学科　科目表		科目表下に社会教育主事要件科目の科目表を追記
3/19	84	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目 D（卒業論文・卒業制作）	＜履修上の注意＞において**以下の項目を追加** (9) 現代心理学研究科映像身体学専攻 博士課程前期課程の学内推薦入試の出願を希望する者は,「卒業論文・卒業制作」の履修を必須とする。

3/19	88	変更	現代心理学部　映像身体学科　科目表		科目表下に社会教育主事要件科目の科目表を追記
3/19	110	変更	博士課程前期課程 Ⅲ 履修登録	項目の追加	6　履修中止制度
3/19	125	変更	博士課程前期課程 Ⅵ 修了に関する事項	3．特別修了 (2) 学位授与式	詳細は各研究科の R Guide を確認すること。時間については，許可者発表日にあわせて成績参照システムにて発表する。 ↓ 詳細は大学ホームページから確認すること。学位記等の配付方法については，修了合否の発表日にあわせて成績参照システムにて発表する。
3/19	134	変更	臨床心理学専攻　博士課程前期課程 Ⅰ　研究指導基本スケジュール	時期	「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、2026 年度履修要項で確認すること。
3/19	135	変更	臨床心理学専攻　博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	5．研究指導の体制	【変更前】（2） 臨床心理学専攻の学生は，入学後すみやかに，研究指導を受ける指導教員 1 名を選定し，あわせて指導教員と協議の上，1 年次の春学期中に副指導教員**を選定する。** ↓ 【変更後】（2） 臨床心理学専攻の学生は，入学後すみやかに，研究指導を受ける指導教員 1 名を選定し，あわせて指導教員と協議の上，1 年次の春学期中に副指導教員**の希望を提出し，専攻内で選定する。** 【変更前】（4） 内容： 報告者（本専攻 2 年次以上で当年度修士論文提出予定者）が修士論文研究の**構想内容**を説明，教員による質疑応答，教員からの指導を行う。 ↓ 【変更後】（4） 内容： 報告者（本専攻 2 年次以上で当年度修士論文提出予定者）が修士論文研究の**進捗とその結果**を説明，教員による質疑応答，教員からの指導を行う。

3/19	138	変更	臨床心理学専攻　博士課程前期課程 Ⅳ　公認心理師	1．資格の趣旨	【変更前】 資格についての詳細な情報は，厚生労働省および日本心理研修センターのホームページを参照すること。 ↓ 【変更後】 資格についての詳細な情報は，厚生労働省および一般財団法人 公認心理師試験研修センターのホームページを参照すること。
3/19	141	変更	映像身体学専攻　博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	5．研究指導の体制	【変更前】（4） 内容： 報告者（本専攻 2 年次以上で当年度修士論文提出予定者）が修士論文研究の構想内容を説明，教員による質疑応答，教員からの指導を行う。 ↓ 【変更後】（4） 内容： 報告者（本専攻 2 年次以上で当年度修士論文提出予定者）が修士論文研究の進捗状況を説明，教員による質疑応答，教員からの指導を行う。
3/19	170 173	変更	案内図	池袋キャンパス構内案内図 新座キャンパス教室案内図 新座体育館案内図	2026 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。

＜2025 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4　教務窓口	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	15	変更	Ⅰ　カリキュラムのしくみ（RIKKYO Learning Style）	2　科目ナンバリングについて 2．全学共通科目のナンバリング	①科目の設置学部学科（専修）・研究科を示すアルファベット 3 文字 【変更前】 ポルトガル語 ↓ **【変更後】** ポルトガル語（ブラジル）
3/19	21	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	6　補講	【変更前】 教務部掲示板および以下の場所で発表する。 ↓ **【変更後】**

					教務部掲示板で発表する。 （インフォメーションボード等削除）
3/19	27 28	変更	Ⅲ-2　履修規定 履修についての注意事項	9　他学部等科目の履修について	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
				10　派遣留学生・認定校留学生の履修	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	32	変更	Ⅲ-3　履修規定 単位認定	2　休学留学制度による単位認定	【変更前】 大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で 「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全 学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される。 ↓ **【変更後】** 大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で 「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全 学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される場合がある。
3/19	43-55	変更	Ⅵ　試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」「試験方法」「追試験」「試験時間重複特別試験」「成績」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
	111-122		博士課程前期課程 Ⅳ 試験・成績		
	147		博士課程後期課程 Ⅴ 試験・成績		
3/19	57	変更	Ⅶ　卒業に関する事項	5　特別卒業	項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
3/19	61	変更	Ⅷ　学籍・学費	6　再入学	項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず**

	128-129		博士課程前期課程 Ⅶ　学籍・学費	5　再入学	**最新の情報を確認すること**
	151		博士課程後期課程 Ⅶ　学籍・学費		
3/19	67	変更	Ｘ　5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	項目の追加	５．履修中止 f-Campus 科目は履修中止申請が認められない。 （以降項番修正）
3/19	84	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目 C（専門展開科目）	＜履修上の注意＞（３）の記載を削除
3/19	102	変更	博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	項目の追加	１１　全学共通科目の履修について （以降項番修正）
3/19	105	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	６．学部科目	文末に「なお，学部科目は随意科目となり，修了要件単位に算入されない。」を追加
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅴ　修士論文	７．修了制作審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加 ６．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	137	変更	Ⅲ　臨床心理士	２．資格取得の流れ	【変更前】 臨床心理士養成に関する指定大学院（１種・２種）または専門職大学院を修了し，年に一度行われる日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格することで資格を得る。なお，立教大学大学院は，第１種指定大学院（**修了後の心理臨床経験不要**）に指定されている。 ↓ 臨床心理士養成に関する指定大学院（１種・２種）または専門職大学院を修了し，年に一度行われる日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格することで資格を得る。なお，立教大学大学院は，第１種指定大学院（**修了後の心理臨床経験がなくても資格試験を受験可能**）に指定されている。
3/19	144	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅱ　履修規定	単位制度	【変更前】 単位制度については，「博士課程前期課程履修規定その他注意事項Ⅱ履修規定　１．単位制度」を参照すること。 ↓ 【変更後】

					単位制度については，「博士課程前期課程履修規定その他注意事項Ⅱ履修規定　1．単位制度　**2.単位の考え方**」を参照すること。

＜2024 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	2 3	変更	教務事項の伝達について	1　掲示 2　教務関連Ｗｅｂサービス 3　緊急時連絡 4　教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は **2024 年度履修要項で確認すること。**
3/19	15	変更	Ⅰ　カリキュラムのしくみ 2　科目ナンバリングについて	2．全学共通科目のナンバリング	**言語系科目のナンバリング**に複数の追加・変更が生じているので、**2024 年度履修要項で確認すること。**
3/19	21 22	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講 8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「**授業形態**」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は **2024 年度版の履修要項で確認すること。**
	100 101		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/19	24	変更	Ⅲ-1　履修規定（単位）	2　卒業要件単位	**以下の文言を追加** ⑶　全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は，60 単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり，卒業要件単位には算入されない。 　履修中及び修得した遠隔授業の単位数は，成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は，授業形態により定められる。授業形態については，Ⅱ 授業（学習生活）を参照
3/19	25 26	変更	Ⅲ-2　履修規定（履修についての注意事項）	2　履修登録上限単位数	「〈**全学共通科目の履修登録上限単位数**〉」において、**言語自由科目（英語）に関する記載を削除**
3/19	28	変更	Ⅲ-2　履修規定（履修についての注意事項）	11　必修科目履修辞退制度	「3．申出方法」内の「（**新座キャンパス教務事務センターで配付**）」を削除
3/19	38	変更	Ⅴ　履修登録	3　履修届出方法	「1．自動登録」（2）※部分について以下のとおり変更 全学共通科目言語 A（英語） 　↓

					全学共通科目言語系科目
					「３．抽選登録」（2）⑥部分について **全学共通科目言語自由科目（英語）に関する記載を削除**
3/19	43-55 111-122	変更	Ⅵ　試験・成績 現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅳ　試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
3/19	57	変更	Ⅶ　卒業に関する事項	5　特別卒業	「１．特別卒業（９月卒業）とは」において**以下の文言を追加（赤字部分）** ３．申請時において，在学８学期目以降の学生であること ただし，在学学期数に関しては，法学部法学科法曹コースの対象学生については，在学６学期以降で足りるものとする
3/19	58-61 126-129	変更	Ⅷ　学籍・学費 現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅶ　学籍・学費	2　休学・復学 6　再入学 2　休学・復学 5　再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、**この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
3/19	64	変更	Ⅸ　グローバル教養副専攻	5　Ｇ副専攻のコース・テーマ	「２．Language & Culture Course」に**以下のテーマを新設** **９．Russian Language & Culture** **選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。**
3/19	83	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目Ｂ（専門演習）	【変更前】 （４）選考通過者で履修初年度春学期を**休学**した場合は，選考結果が無効になるため，選考を受け直すこと。 ↓ 【変更後】 （４）選考通過者で履修初年度春学期を**休学・休学留学・在学留学**した場合は，選考結果が無効になるため，選考を受け直すこと。

3/19	104 105	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定~~（単位認定／他研究科科目等の履修）~~	1　単位制度 2．単位の考え方	項目名の変更（赤字部分の削除）および「1．単位制度」「2．単位の考え方」の項目追加 **2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
	144		現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅱ　履修規定	1．単位制度	「1．単位制度」の項目を追加 **2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
3/19	123	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅴ　修士論文	6．修士論文審査基準	「審査基準」において**以下の文言の追加** 〈心理学専攻〉 6．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈臨床心理学専攻〉 8．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈映像身体学専攻〉 6．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
	150		現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ　博士学位申請	5　博士論文審査基準	「審査基準」において**以下の文言の追加** 〈心理学専攻〉 7．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈臨床心理学専攻〉 7．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈映像身体学専攻〉 7．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅴ　修士論文	7．修了制作審査基準	「審査基準」において**以下の文言の追加** 6．学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅵ　修了に関する事項	3．特別修了	「3．特別修了〈特別修了（9 月修了）（3 月修了）申請条件〉」において**以下の文言の削除** TESOL-J
3/19	130	変更	心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ　研究指導基本スケジュール	時期	「修士論文構想発表会」「修士論文提出」「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、**2024 年度履修要項で確認すること。**
	134		臨床心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ　研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、**2024 年度履修要項で確認すること。**

	140		映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ　研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」の時期を修正したため、**2024 年度履修要項で確認すること。**
3/19	130 134 140	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	1．単位制度	「1．単位制度」の項目を削除
3/19	148	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ　博士学位申請	2　博士論文中間報告書【臨床心理学専攻・映像身体学専攻】	【変更前】 （5）博士論文中間報告書の**受理・不受理の決定**は，現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は，別に定める。 （6）中間報告書**を受理**された者は，博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし，学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し，審査を受けなければならない。中間報告書が**受理**された学期の翌学期から休学期間を含んで 7 学期目以降に学位申請論文を提出する場合も，原則として中間報告書を再提出すること。なお，審査の結果**受理**されなかった場合は，前回の提出から 3 か月以上を経過し，かつ，研究科委員会の許可があれば再提出することができる。 ↓ 【変更後】 （5）博士論文中間報告書の**受理後、審査結果**は，現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は，別に定める。 （6）中間報告書**が承認**された者は，博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし，学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し，審査を受けなければならない。中間報告書が**承認**された学期の翌学期から休学期間を含んで 7 学期目以降に学位申請論文を提出する場合も，原則として中間報告書を再提出すること。なお，審査の結果**承認**されなかった場合は，前回の提出から 3 か月以上を経過し，かつ，研究科委員会の許可があれば再提出することができる。

3/19	149	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ　博士学位申請	3　博士学位申請	「1．博士学位申請資格（「博士学位申請論文に関する現代心理学研究科申し合わせ」抜粋）」内の文言を**以下の通り変更** 【変更前】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して**受理**され，所定の単位を修得済みの者で，～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して**受理**され，所定の単位を修得済みの者で，～ ↓ 【変更後】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して**承認**され，所定の単位を修得済みの者で，～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して**承認**され，所定の単位を修得済みの者で，～
3/19	152 154 156	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ　履修規定	1　教育課程	「1．単位制度」の項目を削除
3/19	152	変更	心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ　履修規定	1　教育課程	「2．所定単位（修了に必要な単位）」を**以下の通り変更** 【変更前】 心理学専攻の教育課程を修了するためには，**下表に示す必要単位数を**修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 心理学専攻の教育課程を修了するためには，**現代心理学研究科博士課程後期課程心理学専攻選択科目から 6 単位以上**修得しなければならない。
3/19	152	変更	心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ　履修規定	2　研究課程	「1．研究指導について」内の「副指導教員の選定について，「研究計画書」に指導教員の氏名を，「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し，それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。なお，副指導教員の決定については，届出をもとに専攻において審議し，伝達することとする。」を削除

3/19	154	変更	臨床心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ　履修規定	2　研究課程	「1．研究指導について」内の「副指導教員の選定について，「研究計画書」に指導教員の氏名を，「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し，それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。なお，副指導教員の決定については，届出をもとに専攻において審議し，指導教員から担当する学生に対して個別に伝達することとする。」を削除
3/19	156	変更	映像身体学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ　履修規定	1　教育課程	「2．所定単位（修了に必要な単位）」を**以下の通り変更** 【変更前】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには，**下表に示す必要単位数を**修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには，**現代心理学研究科博士課程後期課程映像身体学専攻選択科目から 6 単位以上**修得しなければならない。

＜2023 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2　教務関連 Ｗｅｂサービス	「授業支援システム（Canvas LMS, Blackboard 等）」など、項目の追加や修正がされているため、「教務事項の伝達について」は 2023 年度版の履修要項で確認すること。
3/20	20 21 22	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	2 学期・授業 4 休講 5 補講 7 学校感染症に罹患した場合の措置について	休講・補講、学校感染症の周知方法などに変更が生じているため、この項目は 2023 年度版の履修要項で確認すること。 ・学期に 4 半期科目の説明を追加 ・休講情報の掲示場所の文言を修正 ・補講に関する説明および掲示場所を修正 ・学校感染症についての情報掲載場所を修正
	99 100 101		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/20	27	変更	Ⅲ-2　履修規定 履修についての注意事項	9　他学部等科目の履修について	「1．注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲示板，または」 「2．履修登録・履修の可否」において以下の文言を修正

					履修要項　→　R Guide
3/20	28	変更	Ⅲ-2　履修規定 履修についての注意事項	10　派遣留学生・認定校留学生の履修	「３．帰国年度の履修登録」において以下の文言を追加（赤字部分） ５月末日（秋学期は 10 月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合，　（中略）　必ず所属キャンパスの教務窓口に確認すること。 ※帰国年度の履修登録は帰国届を提出していることが前提となる。
3/20	30	変更	Ⅲ-２　履修規定 履修についての注意事項	１２　卒業論文，卒業制作について ５．口頭試問	【変更前】 卒業論文，卒業制作提出後（１月下旬～２月上旬）に，口頭試問を行う。日程等は１月に現代心理学部掲示板に発表する。春学期に卒業論文，卒業制作を提出した者は７月下旬に口頭試問を行う。日程は卒業論文，卒業制作提出受付後，現代心理学部掲示板に発表する。 ↓ 【変更後】 卒業論文，卒業制作提出後に，口頭試問を行う。日程等は現代心理学部 **Web** 掲示板に発表する。春学期に卒業論文，卒業制作を提出した者は７月下旬に口頭試問を行う。日程は卒業論文，卒業制作提出受付後，現代心理学部 **Web** 掲示板に発表する。
3/20	40 108	変更	Ⅴ　履修登録 現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅲ　履修登録	4　登録科目の確認について	「1．登録科目の確認について」で文言の削除と追加（赤字部分） ~~Blackboard 及び SPIRIT Mobile（mobile V-Campus）~~履修登録状況画面以外の時間割は正式な登録科目の確認には使用できないので注意すること。
3/20	42	変更	Ⅴ　履修登録	6　履修中止制度	「2．申請した科目の扱い」において以下の文言を修正（赤字部分） **⑴　成績評価：評価対象とはならない ~~ず，成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される。~~**

3/20	43-55	変更	Ⅵ　試験・成績	項目全体	「レポート試験」の提出方法が Web のみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、**項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。** ・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加 ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
	111-122		現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅳ　試験・成績		
3/20	56 57	変更	Ⅶ　卒業に関する事項	項目全体	「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」(※学部生のみ)、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。 ・希望留年（※学部生のみ）の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	124 125		現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅷ　修了に関する事項		
3/20	58-61	変更	Ⅷ　学籍・学費	項目全体	「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。 ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	125-129		現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅶ　学籍・学費		
3/20	64	変更	Ⅸ　グローバル教養副専攻	5　G副専攻のコース・テーマ	「3．Discipline Course」に以下のコースを新設 **6．Japanese Studies in English Program (仮称）※2023 年度新設予定** **日本の文化や社会への理解を深め，豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み，日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。**

3/20	83	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目Ａ	（基礎演習） ＜履修上の注意＞（３）の記載を削除
3/20	83	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目Ｂ （専門演習）	（３）文中に「指定の期日までに」を追加 （４）の記載を削除
3/20	84	変更	映像身体学科履修規定	２．選択科目 学科選択科目Ｄ （卒業論文・卒業制作）	（６）文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	105	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定（単位認定／他研究科科目等の履修）	２．派遣留学・認定校留学制度で修得した単位の認定について	左記項目を追加したため、2023 年度履修要項で確認すること。
3/20	131	変更	心理学専攻　博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	３．設置科目区分と履修方法	（１）必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	135	変更	臨床心理学専攻　博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	３．設置科目区分と履修方法	（１）必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	141	変更	映像身体学専攻　博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定	３．設置科目区分と履修方法	（１）必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	146	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅱ　研究指導基本スケジュール	４．研究成果報告書	【変更前】 学期ごとに研究成果・指導記録用紙を用いて研究成果報告書を作成し７月と１月の年に二回，**新座キャンパス教務事務センター**に提出しなくてはならない。研究成果・指導記録用紙は新座キャンパス教務事務センターで配付する。なお，必要な場合は，学術雑誌などに発表した論文の別刷等を添付することができる。研究成果報告書は，休学中を除き，後期課程在学中毎学期作成する。提出期間は R Guide に発表する。 ↓ 【変更後】 学期ごとに研究成果・指導記録用紙を用いて研究成果報告書を作成し７月と１月の年に二回，**指導教員**に提出しなくてはならない。なお，必要な場合は，学術雑誌などに発表した論文の別刷等を添付することができる。研

					究成果報告書は，休学中を除き，後期課程在学中毎学期作成する。
3/20	148	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ　博士学位申請	2　博士論文中間報告書【臨床心理学専攻・映像身体学専攻】	【変更前】 （3）博士論文中間報告書の提出期限は**現代心理学研究科掲示板**に掲示する。なお，後期課程に在学中で，その年度内に学位申請論文を提出する見通しが立っており，研究科委員会が事前に許可した者は，春学期末を目処に中間報告書を提出することができる。 （5）博士論文中間報告書の受理・不受理の決定は，**現代心理学研究科掲示板**で発表する。発表日時は，別に定める。 ↓ 【変更後】 （3）博士論文中間報告書の提出期限は**R Guide** に掲示する。なお，後期課程に在学中で，その年度内に学位申請論文を提出する見通しが立っており，研究科委員会が事前に許可した者は，春学期末を目処に中間報告書を提出することができる。 （5）博士論文中間報告書の受理・不受理の決定は，**現代心理学研究科 Web 掲示板**で発表する。発表日時は，別に定める。
5/18	22 101	変更	Ⅱ　授業（学習生活） 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	7　学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。 申請者には，各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。

＜2022 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	2 3	変更	教務事項の伝達について	2　教務関連Ｗｅｂサービス 3　緊急時連絡 4　教務窓口	**窓口時間等の記載を変更したので、2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。**

3/19	16 17	変更	Ⅰ　カリキュラムのしくみ	2　科目ナンバリングについて	**「2．全学共通科目のナンバリング」の「②－（1）全学共通科目　言語系科目」および「②ー（2）全学共通科目　総合系科目」の「◆1 番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更** 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	18	変更			**「3．現代心理学部専門科目のナンバリング」の「◆1 番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更** 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	22 101 3/19	変更	Ⅱ　授業（学習生活） 博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	7　学校感染症に罹患した場合の措置について	**学校感染症に第 3 種を追加。必ず 2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。**
3/19	27	変更	Ⅲ-2　履修規定　履修についての注意事項	9　他学部等科目の履修について	**「1．注意事項 - （2）」の文言（下線部）を追記および削除** あらかじめ定められている「他学部学生履修不許可科目」は配当年次が合っていても履修できない。対象科目は，当該科目を設置している学部等の教務部 Web 掲示板~~（ただし，池袋キャンパス開講科目については，7 号館 1 階脇の移動掲示板）~~，または履修登録システムで確認しておくこと。
3/19	27	変更	Ⅲ-2　履修規定　履修についての注意事項	１０　派遣留学生・認定校留学生の履修	**「1．出国年度の履修と単位修得」について下記の通り文言を変更** 【変更後】　「在学留学」・「休学留学」中は，本学の科目（オンライン科目を含む）を履修し，単位修得することはできないが，留学開始前の学期に開講されている科目の履修は以下の通り認められている。留学開始日により履修，単位修得が認められる科目が異

					なるため注意すること。 ⑴　留学開始日が本学の定める春学期（または秋学期）の試験期間終了後の場合： 「在学留学」・「休学留学」のどちらを選択しても，出国年度の春学期１・２（または秋学期１・２)開講科目および春学期（または秋学期)開講科目を履修し，単位を修得することができる。通年科目の履修については，「２．通年科目の接続」を確認すること。 ⑵　留学開始日が本学の定める春学期１（または秋学期１）の試験期間終了日の翌日から春学期（または秋学期）の試験期間終了日までの場合：「在学留学」の場合に限り，出国年度の春学期１（または秋学期 1）開講科目を履修し，単位を修得することができる（春学期２および春学期（または秋学期２および秋学期）開講科目の履修は認められない）。春学期１（または秋学期 1）開講科目の履修を希望する学生は，留学決定後速やかに所属キャンパスの教務窓口で，手続き方法などについて説明を受けること。 ※試験期間は R Guide で確認すること。 ※科目の開講学期は，R Guide 科目表およびシラバスで確認すること その他，詳細については国際センターが発行する派遣留学生の募集要項を参照すること。
3/19	28	変更	Ⅲ-２　履修規定　履修についての注意事項	１１　必修科目履修辞退制度	**「４．結果通知」について、下記の通り記載を変更** 【変更前】新座キャンパス教務事務センターにて結果を通知する。 ↓ 【変更後】履修登録状況画面で確認すること。
3/19	30	変更	Ⅲ-２　履修規定　履修についての注意事項	１２　卒業論文，卒業制作，卒業研究について	**「３．ガイダンス」の記載を削除**
3/19	32	変更	Ⅲ-３履修規定　単位認定	４　入学前に修得した単位の認定	**以下の文言（下線部）を追加** 入学前に本学または本学以外の大学･短期大学等で修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）および短期大学･高等専門学校の専攻科での学修について，認定を希望する場合は，以下の通り認定することがある。

3/19	36 105	変更	Ⅴ　履修登録 Ⅲ　履修登録	1　履修登録とは	**以下の文言（下線部分）を追記** 履修登録は，学生がその年度・学期に自分が履修しようとする科目を届け出る手続きであり，学習計画の出発点となるものである。
3/19	43 111	変更	Ⅵ　試験・成績	全項目	**2022 年度入学者向け履修要項を必ず確認すること。全項目において大幅な変更が生じている。**
3/19	57 124	変更	Ⅶ　卒業に関する事項 Ⅵ　修了に関する事項	5　特別卒業	**「1．特別卒業（9 月卒業）とは」「3．特別修了」の項目から以下の文言（下線部分）を削除** ※5 ~~特別卒業(特別修了)を許可された場合，許可されて時点の学費の納入状況により返金を行うことがある。~~学費の納入額が特別卒業の申請条件として納入すべき金額に不足する場合は，特別卒業願を受理しない。
3/19	60 128	変更	Ⅷ　学籍・学費 Ⅶ　学籍・学費	2　休学・復学	**「9．休学中の学費について」内に以下の文言を追記** ※5 理学部（理学研究科）における実験・実習費については、履修状況に応じて金額が異なる場合がある。
3/19	66 67	変更	Ⅹ　5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	1　履修登録	**「3　科目登録・登録結果発表（2）」について、文言（下線部分）を追記** （R Guide＞履修登録＞ f-Campus について ＞ 申込日程）
3/19				5　その他	**「2．施設の利用」について、下記文言を追記** 　また，社会情勢により施設の利用可否が変更になることがあるため，最新の情報は f-Campus ホームページで確認すること。
3/19	-	変更	Ⅶ　大学院特別進学生制度（5 年一貫プログラム）	全項目	心理学科の 2020 年度以降入学者に適用される制度として新設。詳細は、2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	77 138	変更	公認心理師	1．資格の趣旨	**下線部分について、下記の通り記載を変更** 【変更前】「公認心理師」とは，心の健康に関する専門家として，心理に関する支援や観察，分析に関する業務を，保健医療，福祉，教育，犯罪，産業等の主要 5 分野において行う国家資格である。 ↓ 【変更後】「公認心理師」とは，心の健康に関する専門家として，心理に関する支援や観察，分析に関する業務を，保健医療，福祉，教育，司法，産業等の主要 5 分野において行

					う国家資格である。
3/19	78	変更	社会調査士	２．資格取得の申請方法・場所	**下線部分について、下記の通り記載を変更** 【変更前】なお，立教大学の学生は「キャンディデイト」資格の申請手数料に関して，一般の大学に比べて減額を受けられる（今年度の申請方法や具体的な手順などについての詳細は，正式決定後に学部掲示板に掲示する）。 ↓ 【変更後】なお，立教大学の学生は「キャンディデイト」資格の申請手数料に関して，一般の大学に比べて減額を受けられる（申請期間や具体的な手順などの詳細については、社会情報教育研究センターの Web ページを確認すること）。
3/19	79 80 86	変更	卒業要件単位表	卒業要件単位表欄外	**下記文言を追記** ◆全授業回または一部の授業回を遠隔授業により実施する授業科目で修得した単位は、60 単位まで卒業要件単位に含めることができる。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 遠隔授業により実施する授業科目とは、オンライン科目（全回オンライン）、オンライン科目（一部対面）、オンデマンド科目（全回オンデマンド）を指す。 ただし、 2020 年度および 2021 年度開講のオンライン科目・オンデマンド科目による修得単位ついては、新型コロナウィルス感染防止に伴う特例措置として、この 60 単位上限には算入されない 。 なお、活動制限指針による「制限レベル１～４」が適用され、一時的に授業実施形態の変更が生じたことにより、当該科目の対面授業回が遠隔実施になった場合も 60 単位上限には影響しない。
3/19	97	変更	博士課程前期課程 科目ナンバリングについて	２　アルファベット・数字部分の説明	**「◆1 番台（使用言語を示す）」を下記の通り変更** 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授

					業
3/19	161	変更	プライバシーポリシー	全項目	**2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。**
9/2	83	変更	映像身体学科履修規定	2　カリキュラム図・科目群の概要・履修上の注意 2．選択科目 学科選択科目 B （専門演習）	**下線部分について、下記の通り記載を変更** 【変更前】 ＜履修上の注意＞ （1）選択科目であり、2 年次秋学期（履修前年度秋学期）に募集・選考を行う。提出期間・提出場所は 11 月実施のガイダンスで指示する。 ↓ 【変更後】 ＜履修上の注意＞ （1）選択科目であり、2 年次秋学期（履修前年度秋学期）に募集・選考を行う。提出期間・提出場所は 10 月実施のガイダンスで指示する。
9/2	147	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項　全専攻	Ⅳ　試験・成績	秋学期科目および通年科目の成績発表時期および成績表評価調査申請期間に関する記載を追記訂正。

＜2021 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正/変更前　→　訂正／変更内容
4/6	81	訂正	心理学科　科目表	自由科目 自由選択科目	「心理学原書講読（入門）2 単位」を追加
12/16	83	変更	映像身体学科履修規定	2．カリキュラム図・科目群の概要・履修上の注意 2．選択科目 学科選択科目 A（基礎演習）	2 年次（2 年次以上，在学 1～3 学期）春学期に履修する。 ↓ 2 年次以上で在学学期 2 － 4 学期の春学期に履修する（ただし過去に基礎演習を履修済のものを除く）。

教務事務センター

【全学共通科目】

2021年度1年次入学者向け　履修要項（2021年度配付）訂正・変更一覧

（2026年3月19日時点　訂正・変更一覧）

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

＜2026年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全9	変更	総合系科目について 2．科目群	3　芸術・文化への招待	このカテゴリでは，人類が生み出してきた文学・美術・音楽・演劇・映像・建築などの作品を対象として，作品の作り手と受け手との緊張をはらんだ関係，あるいは作品を取り巻く社会的諸関係の実相に迫る。文学・芸術の作品に，理性と感性とを総動員して向かい合うことが，その特色である。 （略）こうした多くの要求にかなった科目を配置することで，「多彩な学び」に相応しい科目を用意した。これら科目の受講により，文化・芸術などの創造・鑑賞を志す学生には，幅広いその土台を提供することになろう。 ↓ このカテゴリでは，人類が生み出してきた文学・美術・音楽・演劇・映像・建築などを対象として，多様なジャンルの作品に理性と感性とを総動員して向かい合うことで，作り手と受け手との緊張をはらんだ関係，あるいは作品を取り巻く社会的諸関係の実相に迫ることを特色とする。 （略）「多彩な学び」に相応しい，これら多岐にわたる科目群は，文化・芸術などの創造・鑑賞を志す学生に確固とした土台を築く機会を提供することになるだろう。

3/19	全 9	変更	総合系科目について 2．科目群	4　心身への着目	現代社会では，さまざまなストレスの中で日常生活を送っており，心身の健康がより良く生きるための重要な要因となっている。（略） 心身に関わるテーマに，心理・メディアの分野では「認知」，「行動」，「発達」，「心の健康」などの側面から，健康・スポーツの分野では「医学」，「社会学」，「運動学」，「栄養学」などの側面から迫るとともに，映像論，身体論の視点も取り上げる。このように，積極的に心身の問題を掘り下げて理解することを目的としている。 ↓ 現代社会に生きる人々は，さまざまなストレスの中で日常生活を送っており，心身の健康がより良く生きるための重要な要因となっている。（略） 心理・メディアの分野では「認知」，「行動」，「発達」，「心の健康」などの側面から，健康・スポーツの分野では「医学」，「社会学」，「運動学」，「栄養学」などの側面から迫る科目群とともに，映像論，身体論も配置する。これにより，履修者が多様な視点から心身の問題を掘り下げて理解を深めることを目的とする。
3/19	全 10	変更	総合系科目について 2．科目群	6　知識の現場	立教大学の社会的な使命や課題を強く意識した全学的な取り組み（プロジェクト）のために設けられている科目群で，学外特に海外でさまざまな実践活動に携わろうとする学生がそうした活動を学業の一部に取り込むことが可能となるように，「総合系科目」の伝統的なルールの外で，プロジェクトの各担当部局がほぼ独自に科目を編成している。「多彩な学び」は 1 年次秋学期以降の全学年で所属学部にかかわらず履修できるのが原則だが，「知識の現場」に限っては，「積み重ね型」のカリキュラムであることが多いため，履修できる学部・学年が特定されていたり，先修規定があったり，語学能力等で事前に参加が制限されたりすることがある。多くは人数制限科目であり，単位認定の仕方も「多彩な学び」の他の科目と異なる場合がある。

					↓ 立教大学の社会的な使命や課題を強く意識した全学的な取り組み（プロジェクト）のために設けられている科目群で，学外（海外および国内）でさまざまな実践活動に携わろうとする学生がそうした活動を学業の一部に取り込むことが可能となるように，「総合系科目」の伝統的なルールを越え，科目が編成されている。「多彩な学び」は 1 年次秋学期以降の全学年で所属学部にかかわらず履修できるのが原則だが，履修できる学部・学年が特定されていたり，先修規定があったり，語学能力等で参加が制限されたりすることがある。
3/19	全 12	変更	総合系科目について 2．科目群	立教大学数理データサイエンス教育プログラム	「立教大学数理データサイエンス教育プログラムは、数理・データサイエンスを基礎から応用まで体系的に学ぶオンデマンド型プログラムである。入門・応用の 2 つのコースで構成され、応用コースを修了した学生には、修了証を発行する。文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度への申請を予定している。」を追記。
3/19	全 12	変更	総合系科目について 4．履修上の注意	2．履修登録上限単位数	また，「海外ワークエクスペリエンス 1・2」科目の登録上限の扱いについては，R Guide を参照すること。 （略）詳細はシラバスや R Guide の全学共通科目表で確認すること。 ↓ また，春学期期間外科目・秋学期期間外科目は，年間の履修登録上限単位数に算入される（学期ごとの上限には含まれない）。詳細は，R Guide を参照すること。 （略）その他，詳細はシラバスや R Guide の全学共通科目総合系科目表で確認すること。
3/19	全 12	変更	総合系科目について 4．履修上の注意	4．卒業要件とはならない科目	「環境学部の学生は，「多彩な学び」科目群『6　知識の現場』の「GL101」は履修対象外（履修不可）科目となるので注意すること。」を追記。
3/19	全 31	変更	言語系必修科目 1．英語単位認定試験	9．不正行為	⑵　受験中不正行為を行った者は，直ちに退場させられる。 ⑷　不正行為を行った者の当該試験期間の成績は，筆記試験以外の方法のみによって成

					績評価をする科目（レポート・レポート試験科目，平常点科目，口頭試問科目）について有効とする。ただし，処分決定後は，不正行為以後の全ての受験資格を喪失する。 ⑸　春学期末または秋学期末・学年末試験期間に不正行為を行った場合，６月または 11 月に受験した英語単位認定試験の受験資格をさかのぼって失い，合格は取り消される。 ⑹　不正行為を行った者の処分は，当該学生の所属学部教授会が決定する。 ⑺　不正行為に対する処分は，訓告，停学，退学の３種類とする。 不正行為の処分は，原則として停学とする。 ↓ ⑵ 試験中に不正行為とみなされる行為が発見された場合，試験監督者および全学共通カリキュラム運営センターは，不正行為者に対して，試験の中断，その場での待機，また試験場からの退室等を命じる。不正行為者はその指示に従うこと。 ⑷ 春学期末試験に不正行為を行った場合には 6 月に受験した英語単位認定試験の，秋学期末・学年末試験に不正行為を行った場合には 11 月に受験した英語単位認定試験の，それぞれ受験資格をさかのぼって失い，合格は取り消される。 ⑸ 不正行為を行った者の当該試験期間の成績は，　平常点科目はこれを有効とする。口頭試問科目は，不正行為の認定以前に実施されたもののみ有効とする。レポート試験科目は，不正行為を行った筆記試験科目の試験開始時刻（定刻）以前に Web 提出されたもののみ有効とする。 ⑹ 不正行為を行った者は，本学学則第 56 条に基づき，これを懲戒する。 ⑺ 懲戒は，本学学則第 56 条 2 に基づき，訓告，停学及び退学の３種とする。 ⑻ 不正行為を行った者の懲戒は，本学学則第 57 条に基づき，当該学生の所属学部教授会の議を経て，総長がこれを行う。

＜2025 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 3．スポーツ実習	スポーツスタディ	文章中の以下の下線部を変更 また，各担当者から課せられるレポートを提出することにより， ↓ また，各担当者から課せられるレポートやテストにより，
3/19	全 32	変更	言語系自由科目 自由科目 1．自由科目 履修上の注意	先修規定	以下の文言を「5.先修規定」として追記 5.先修規定 原則，言語系科目の自由科目に先修科目（※）はない。但し，日本手話については先修科目が設けられているため，履修を希望する場合は必ず R Guide の科目表で詳細を確認すること。 （※）先修科目とは，ある科目を履修するための条件として，先立って，単位を修得しておくことが必要な科目をいう。
3/19	全 33	変更	言語系自由科目 自由科目 3．ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語	2．母語話者の履修について	文章中の以下の下線部を追記 母語は履修してはならない。 ↓ 一部科目を（※）除き，母語は履修してはならない。 （※）「～語 CLIL〇」については，母語話者の履修を認める。

＜2024 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目（F 科目）	TOEIC →　TOEIC®L&R
					主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるという旨を追記。

3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ１・２」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス１・２」
3/19	全 31 ～ 全 34	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024 年度 R Guide 掲載の 「言語自由科目 カリキュラムの改定について」を参照すること。

＜2023 年度中の訂正・変更箇所＞　なし

＜2022 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目（F 科目）	末尾に以下の内容を追記 「F 科目には 3 つのレベル（導入，中級，上級）がある。導入は「学びの精神」で開講され，授業中の使用言語は日本語中心だが，英語教材を使用し，英語で学ぶことを体験する。中級・上級は「多彩な学び」で開講される。中級は TOEIC550 点相当，上級は 700 点相当の英語力を有していることを前提に実施する。」
3/19	全 32	変更	言語系自由科目 自由科目	1　自由科目 履修上の注意 言語自由科目（英語）	ステージ 2　基準点 CEFR B1　追加
					ステージ 3　基準点 CEFR B2　追加
					ステージ 4　基準点 CEFR B2 以上　追加

以　上